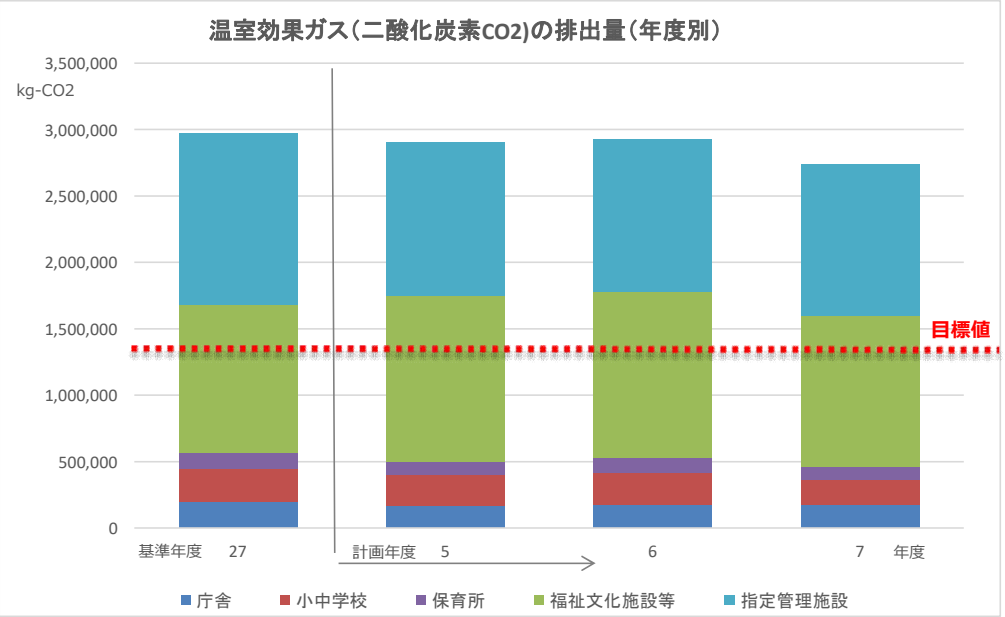
富士川町役場環境保全率先行動計画(第3期)　事務事業編(公共施設)

公共施設等の燃料等の使用実績における温室効果ガス(二酸化炭素CO2)総排出量の状況(平成27年度(基準年度)～令和7年度)

■温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の総排出量(年度別)

単位：kg-CO2

項目	平成27年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		平成27年度からの削減率
	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	
庁舎	198,443	100%	165,638	83%	171,512	86%	173,377	87%	
小中学校	252,240	100%	236,695	94%	247,001	98%	187,465	74%	
保育所	115,243	100%	98,130	85%	108,802	94%	99,367	86%	-231,232
福祉文化施設等	1,117,050	100%	1,250,719	112%	1,256,651	112%	1,136,366	102%	-7.78%
指定管理施設	1,290,768	100%	1,158,270	90%	1,146,476	89%	1,145,937	89%	
合計	2,973,744	100%	2,909,452	98%	2,930,442	99%	2,742,512	92%	
	基準年度		計画年度						



【参考】

■令和7年度のCO2排出量は、昨年度比で－7%となっており、一定の削減効果が出ている。また、昨年度からの全体のCO２増減率として、富士川中学校の統合による影響で小中学校で24%減、福祉文化施設で10%減と大幅に減少している。

■エネルギー使用量については、基準年度全体と比較してLPGを除き削減ができている。また、灯油、重油については計画年度から引き続き20%以上の削減となっている。
地球温暖化により、冷暖房の使用する期間が増えたことによる電気使用量とLPG使用量が今後も増加していくことが予想されるため、使用していない場所や不必要な場所等の消灯を心がけ電気使用の削減に努めていく必要がある。